



# 2022年12月期 第2四半期 決算説明資料

2022年8月31日

株式会社やまびこ



# INDEX

<b>1. 2022年12月期第2四半期決算概要</b>	<b>3</b>	<b>4. カーボンニュートラルと当社の開発戦略</b>	<b>30</b>
2022年12月期第2四半期総括	4	中長期の需要見通しと当社の開発戦略	31
2022年12月期第2四半期経営成績	5	=世界最高レベルの環境技術開発	
連結売上高の地域別増減（円換算ベース）	6	① 環境対応技術のイノベーション	32
連結営業利益の増減	7	② バッテリー製品のラインナップ	33
セグメント別経営成績	8	小型屋外作業機械（OPE）における当社手持ち・	34
セグメント別売上高実績（地域別）	9	背負い型作業機の開発戦略を表すイメージ	
四半期別業績推移	10	良く働く作業機としてのバッテリー製品の拡充	35
		やまびこにおける特許出願状況のまとめ	36
<b>2. 2022年12月期業績予想</b>	<b>11</b>	③ アライアンスへの取り組み（一部事例）	37
2022年12月期通期予想	12	やまびこの存在意義	38
連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）	13	創業者達の経営理念 - やまびこのDNA -	39
連結営業利益の増減予想	14		
設備投資・研究開発費・減価償却費	15	<b>APPENDIX</b>	<b>40</b>
業績推移	16	会社概要	41
株主還元	17	やまびこの歩み	42
		業績推移と売上構成	43
<b>3. 今後の事業環境と経営戦略</b>	<b>18</b>	事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	44
やまびこの存在意義	19	事業セグメント：農業用管理機械	45
経営戦略	20	事業セグメント：一般産業用機械	46
安全・安心で良く働く作業機へのこだわり	21	国内生産体制	47
2022年12月期 基本方針とセグメント別重点施策	22	海外生産体制	48
セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）	23	主な販売経路	49
セグメント別重点施策：農業用管理機械	25	海外市場での販売とユーザー	50
セグメント別重点施策：一般産業用機械	26	日本市場での販売とユーザー	51
やまびこグループのサステナブル経営	27	主なグループ会社の状況	52
TOPICS① エコインク 太陽光パネル設置	28	関連指標等	53
TOPICS② イノベーションセンター開設	29		

# 1

## 2022年12月期 第2四半期 決算概要

## 2022年12月期第2四半期 総括

海外は主力の北米OPEでプロユーザーの堅調な需要が継続した一方で、ホームオーナーを中心としたその他ユーザーの需要が減少。国内は農機が昨年の政府による補助金需要の反動減や、中国都市封鎖を背景に仕入商品の調達が滞ったことに加え、産機販売の低迷が続き減収。

市場	セグメント	当社状況 (現地販売)	当社販売状況	
国内	小型屋外作業機械 (OPE)		補助金需要の反動により販売が減少し減収	
	農業用管理機械		補助金需要の反動減に加え、中国都市封鎖を背景に仕入商品の調達が滞ったことなどにより減収	
	一般産業用機械		新型コロナウイルスによる販売活動の制限が影響し、主力の発電機販売が減少して減収	
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	北米市場		プロユーザー向け販売は堅調に推移するも、ホームオーナー向け販売が減少し減収
		中南米市場		政情不安・経済問題は継続も、新型コロナウイルスの影響により需要は堅調に推移
		欧州市場		巣籠り需要は一服感も、プロユーザーの高い需要が継続し増収
	農業用管理機械	北米市場		引き続き穀物価格が高値安定する市場環境に支えられ増収
	一般産業用機械		新型コロナウイルスによる行動規制の緩和に伴い、北米で発電機の建設工事向け需要が回復し増収	

※「OPE」=Outdoor Power Equipment

## 2022年12月期第2四半期 経営成績

- 売上高は、国内は農機が昨年の補助金需要の反動と仕入商品の入荷遅延による減少に加え、引き続き新型コロナウイルスの影響から回復が遅れている産機販売が減少し減収。海外は北米OPEのホームオーナー向け販売が減少するも、プロユーザー向け販売が堅調に推移したほか、農機と産機販売も増加したことにより増収。
- 営業利益は国内における売上高の減少や販管費の増加などにより減益。経常利益は主に為替が円安に推移した事により増益となり、それに伴い最終利益も増益。

(百万円)	21/12期 2Q実績	構成比 (%)	22/12期 2Q実績		
			構成比 (%)	前年同期比 (%)	
売上高	76,398	100.0	79,640	100.0	+ 4.2
売上原価	55,127	72.2	58,067	72.9	+ 5.3
販管費	14,407	18.9	15,205	19.1	+ 5.5
営業利益	6,863	9.0	6,367	8.0	▲ 7.2
経常利益	7,264	9.5	7,568	9.5	+ 4.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,393	7.1	5,850	7.3	+ 8.5

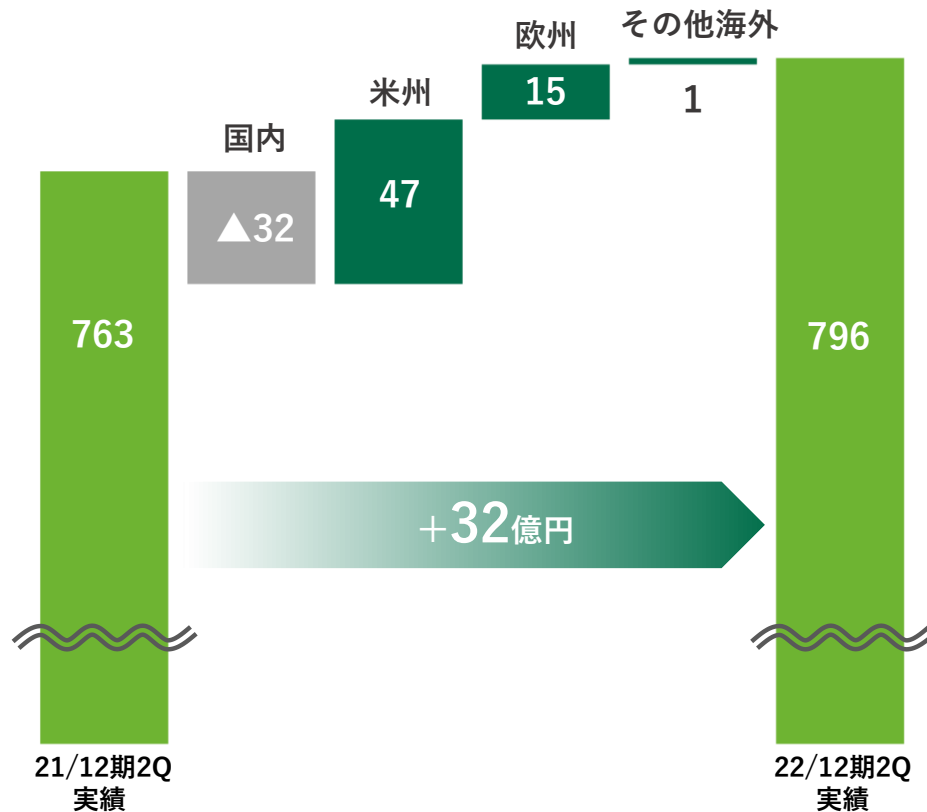
※2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、影響は軽微と見て、前年同期比については単純比較で増減を記載しております。

### ■ 為替レート

1ドル	当社レート	108 円	121 円	+ 12.9
	米国子会社 換算レート	108 円	123 円	+ 14.2
1ユーロ		129 円	133 円	+ 2.8

# 連結売上高の地域別増減（円換算ベース）

（億円）



## 国内

昨年の補助金需要の反動や中国都市封鎖を背景に仕入商品の入荷が遅延した農機販売の減少に加え、産機も新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ主力の発電機販売の回復が遅れたことにより減収。

## 米州

北米OPEのホームオーナー向け販売の減少も、プロユーザー向け販売が堅調に推移したことや、好調な穀物市況に支えられた農機やコロナ禍からの回復が進む産機販売が増加した。

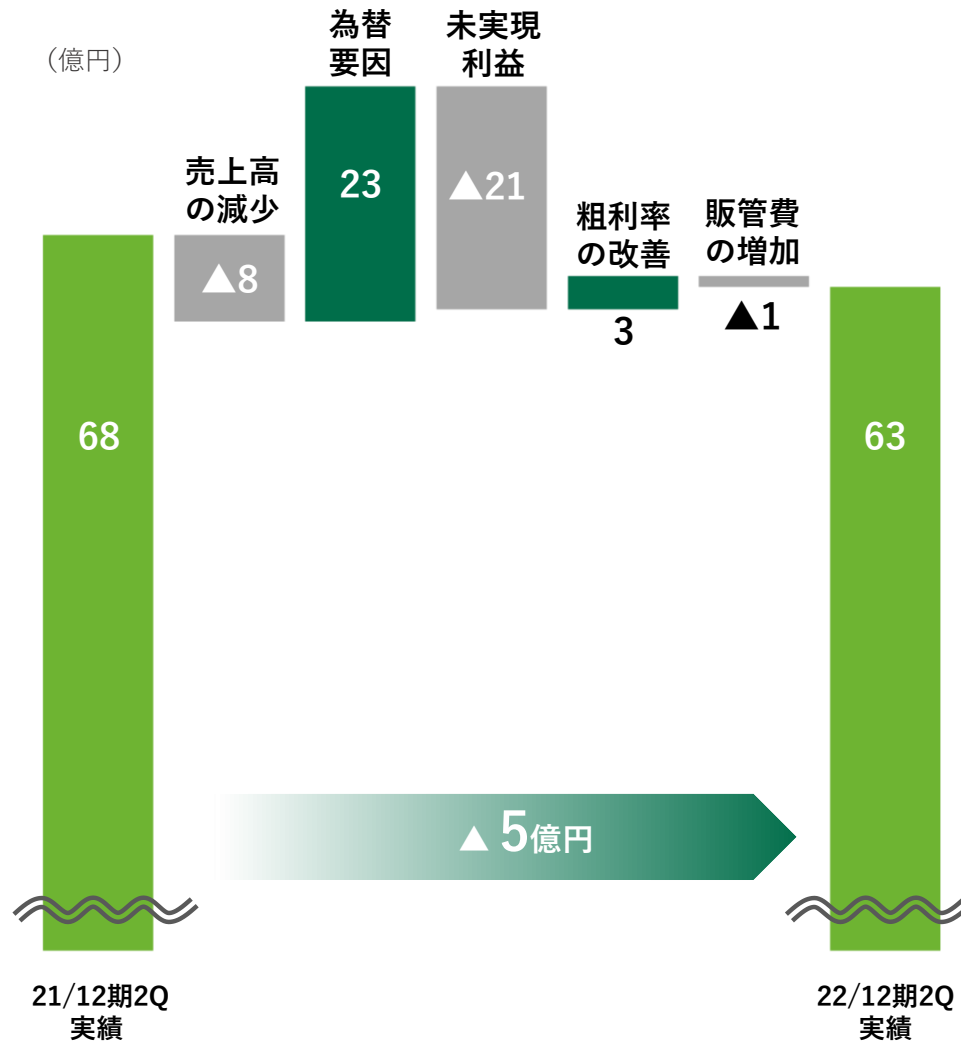
## 欧州

輸送遅延、生産遅延等があったものの昨年から続くOPEの高い需要が継続。

## その他海外

オセアニアでOPE販売が増加したことが貢献。

# 連結営業利益の増減



## 売上高要因

売上高の減少。

## 為替要因

円安に伴う利益の増加。

## 未実現利益

北米子会社の在庫の増加。

利益への影響額

22年12月期2Q 26.7億円のマイナス  
 21年12月期2Q 5.3億円のマイナス  
 ⇒前期対比21.4億円のマイナス影響

## 粗利率

主に海外OPEで高収益なプロ向け製品の販売比率が増加などにより若干の改善。

## 販売管理費

主に減価償却費の増加など。

## セグメント別経営成績

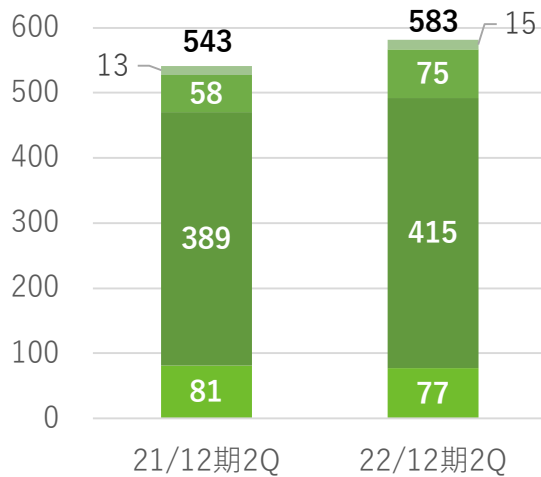
(百万円)	21/12期 2Q実績		22/12期 2Q実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	76,398	100.0	79,640	100.0	4.2
小型屋外作業機械	54,358	71.2	58,350	73.3	7.3
農業用管理機械	13,488	17.7	13,009	16.3	▲ 3.5
一般産業用機械	7,406	9.7	7,309	9.2	▲ 1.3
その他	1,145	1.5	969	1.2	▲ 15.3
営業利益	6,863	-	6,367	-	▲ 7.2
小型屋外作業機械	9,224	134.4	9,128	143.3	▲ 1.0
農業用管理機械	254	3.7	468	7.4	84.2
一般産業用機械	339	5.0	555	8.7	63.6
その他	211	3.1	173	2.7	▲ 17.9
全社共通費	▲ 3,166	-	▲ 3,957	-	-



# セグメント売上高実績（地域別）

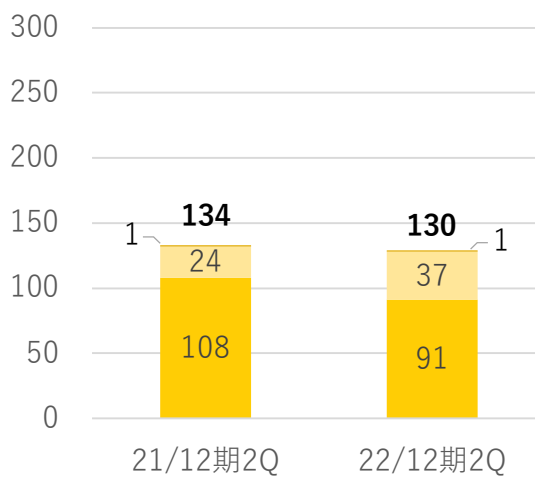
（単位：億円）

### 小型屋外作業機械（OPE）



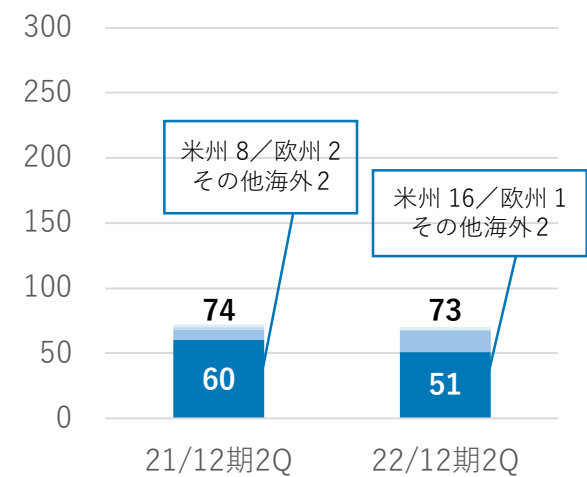
■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ その他海外

### 農業用管理機械



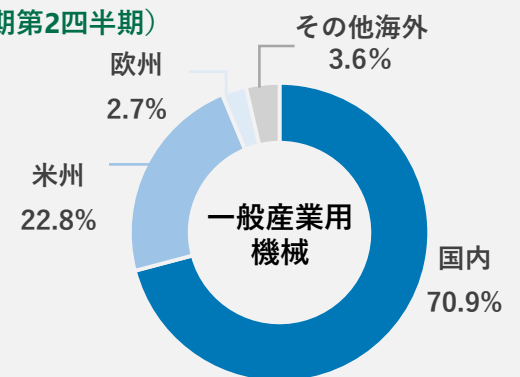
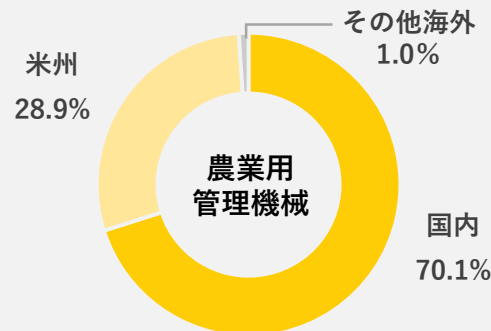
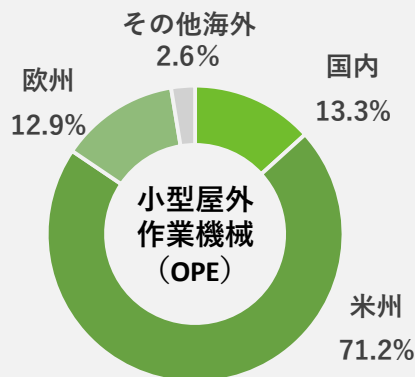
■ 国内 ■ 米州 ■ その他海外

### 一般産業用機械

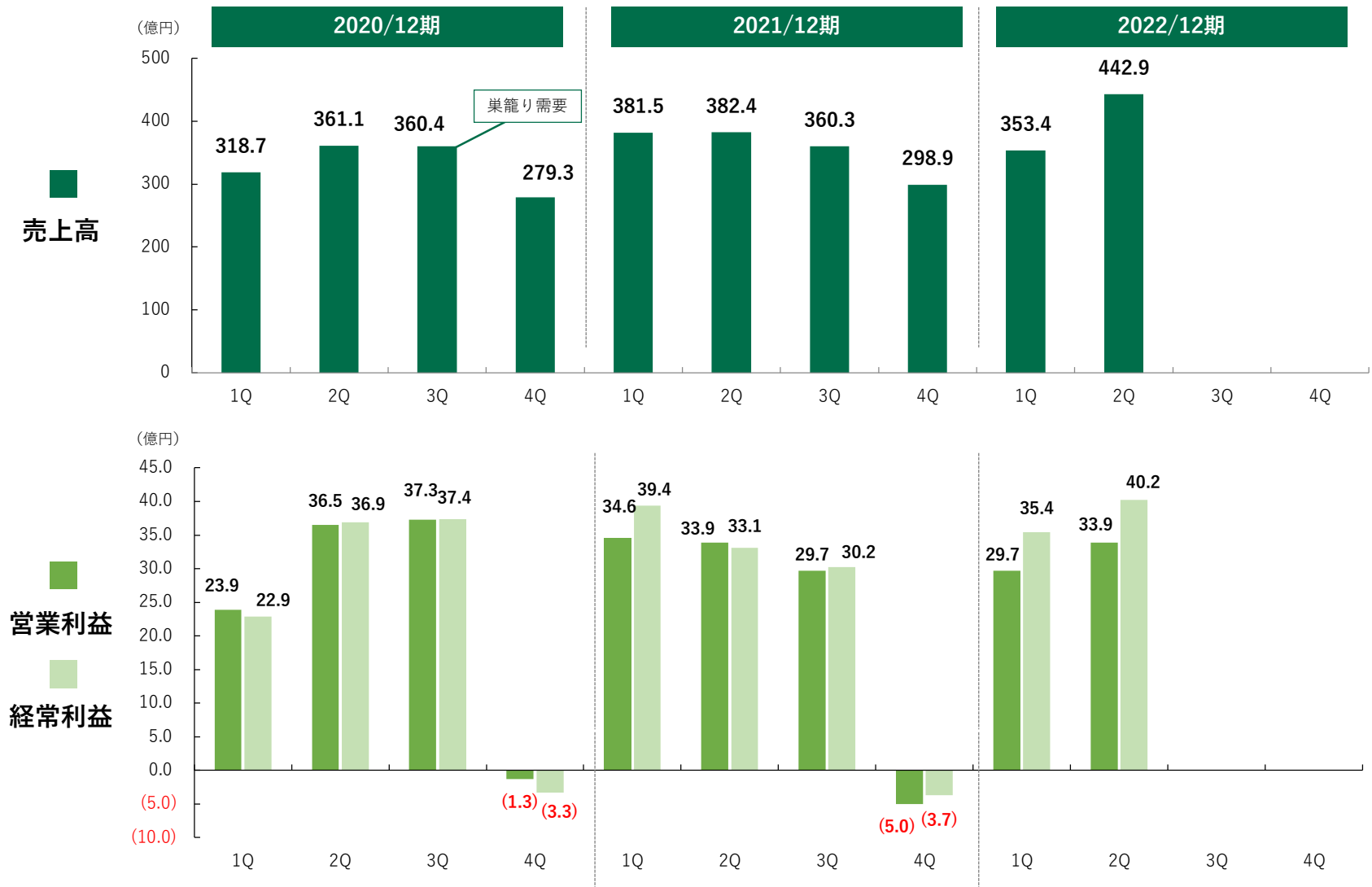


■ 国内 ■ 米州 ■ 欧州 ■ その他海外

## 地域別比率（2022年12月期第2四半期）



# 四半期別業績推移



# 2

## 2022年12月期 業績予想

## 2022年12月期 通期予想

- 売上高は、国内は農機が昨年の補助金による需要の反動減に加え、中国都市封鎖の影響により仕入商品の調達不足が発生し減収。海外はOPEのホームオーナー向け販売が減少するも、プロ向けが堅調に推移したことや為替の影響により増収を見込む。
- 収益面においては、昨年引き続き原材料価格や物流費の高騰が利益を圧迫。コスト上昇分の販売価格への転嫁や継続して生産性の改善による収益の確保と円安による売上寄与を予想し、前年と比べて営業利益、経常利益、最終利益で増益を見込む。

(百万円)	21/12期 実績	構成比 (%)	22/12期 予想			22/12期 前回予想 2月14日発表
			構成比 (%)	前年同期比(※) (%)		
売上高	142,328	100.0	<b>148,000</b>	<b>100.0</b>	<b>4.0</b>	150,000
売上原価	102,881	72.3	<b>105,800</b>	<b>71.5</b>	<b>2.8</b>	105,700
販管費	30,117	21.2	<b>32,500</b>	<b>22.0</b>	<b>7.9</b>	32,600
営業利益	9,330	6.6	<b>9,700</b>	<b>6.6</b>	<b>4.0</b>	11,700
経常利益	9,913	7.0	<b>10,300</b>	<b>7.0</b>	<b>3.9</b>	11,400
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,500	5.3	<b>8,000</b>	<b>5.4</b>	<b>6.7</b>	8,500

※2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、影響は軽微と見て、前年同期比については単純比較で増減を記載しております。

### 為替レート

1ドル	当社レート	110円	<b>130円</b>	<b>+ 18.6</b>	110円
	米国子会社 換算レート	110円	<b>130円</b>	<b>+ 18.3</b>	110円
1ユーロ		130円	<b>140円</b>	<b>+ 7.7</b>	130円

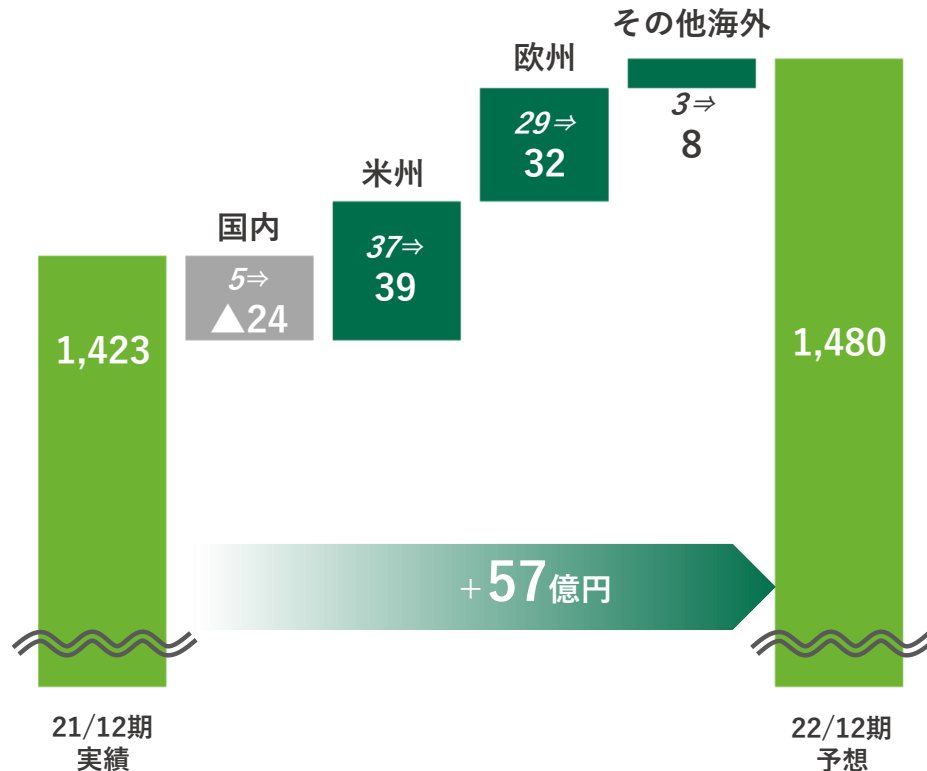
# 連結売上高の地域別増減予想（円換算ベース）

（凡例）

5⇒▲24

- 2022年2月14日 前回業績予想
- 2022年8月10日 修正業績予想

（億円）



## 国内

新型コロナにより販売が落ち込んだ産機の回復の遅れにより減収を見込む。

## 米州

円安が売上増加に寄与。ホームオーナー向けのOPE販売が減少するも、プロ向けが堅調なことに加え、穀物価格が高騰する市況に支えられた農機や新型コロナの落ち込みから回復する産機販売の増加を見込む。

## 欧州

ロシアの減収を補い、プロ向けを中心にOPEの高い需要の継続を見込む。

## その他海外

アジア、アフリカ、オセアニア向けOPEと産機販売の増収を見込む。

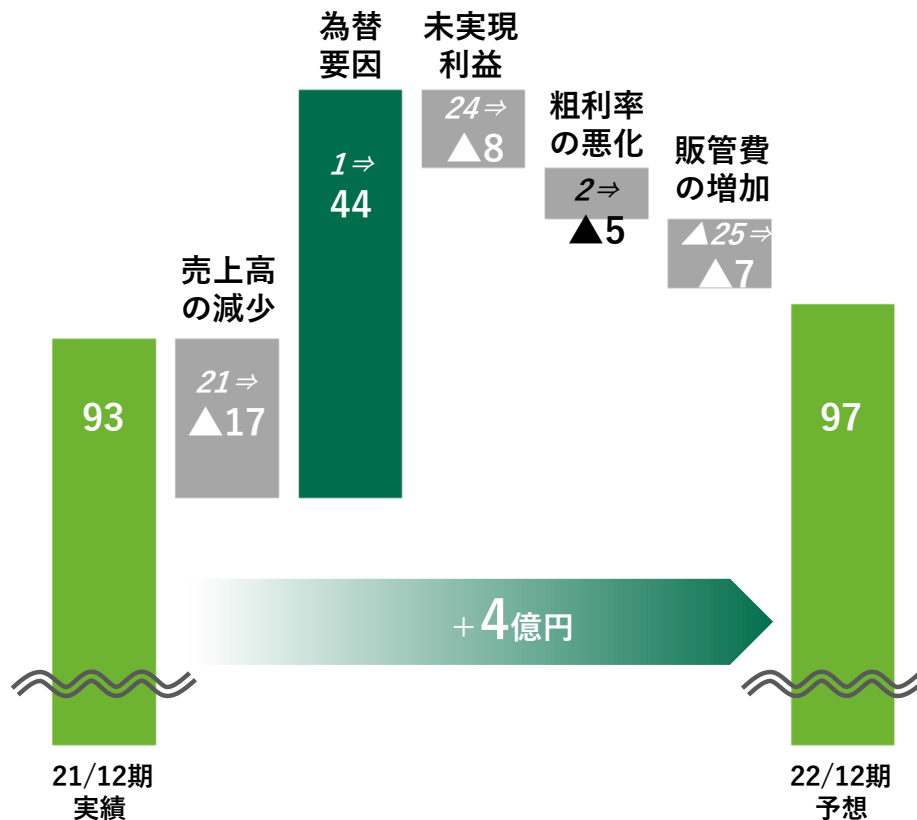
# 連結営業利益の増減予想

(凡例)

21⇒▲17

- 2022年2月14日 前回業績予想
- 2022年8月10日 修正業績予想

(億円)



## 売上高要因

主に国内販売と北米OPEのホームオーナー向け販売の減少。

## 為替要因

円安に推移したことにより利益が増加。

## 未実現利益

北米子会社の在庫の増加。

利益への影響額

22年12月期 27.2億円のマイナス  
 21年12月期 18.9億円のマイナス  
 ⇒前期対比 8.3億円のマイナス影響

## 粗利率

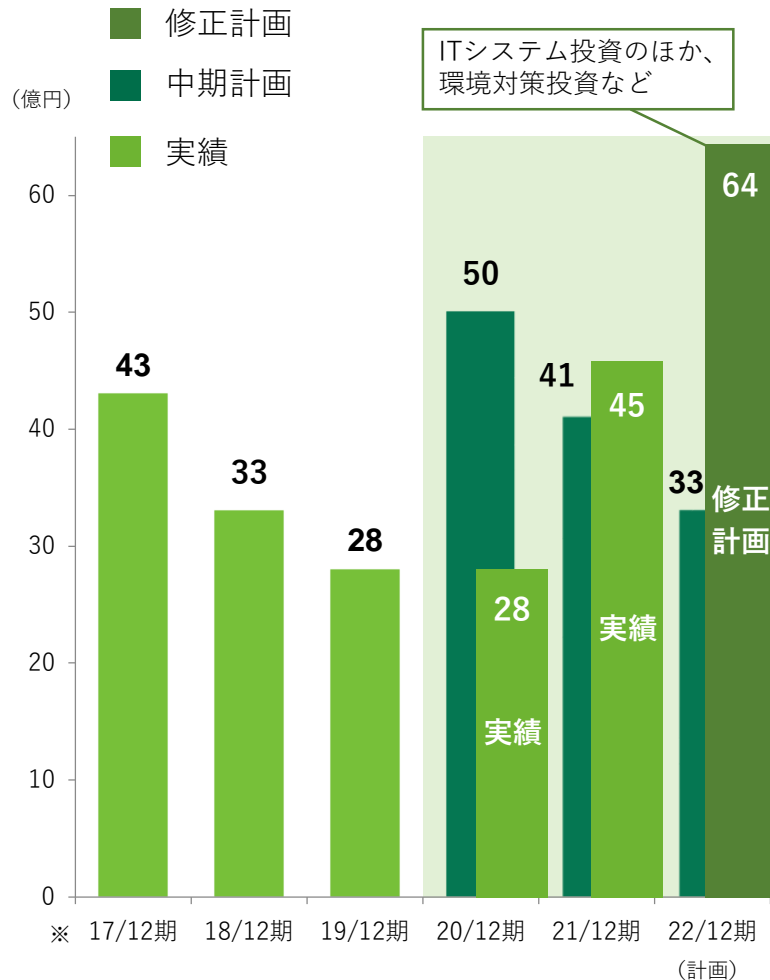
値上げによる収益改善も、想定以上の原材料価格の高騰により原価が増加。

## 販売管理費

開発経費および減価償却費の増加など。

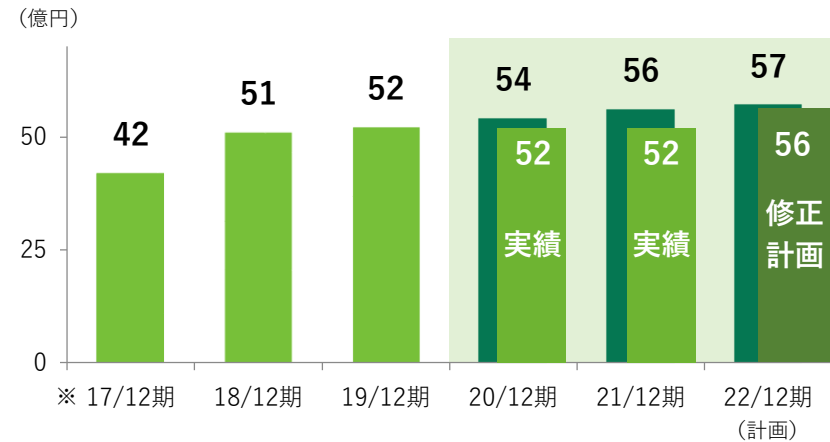
# 設備投資・研究開発費・減価償却費

## 設備投資

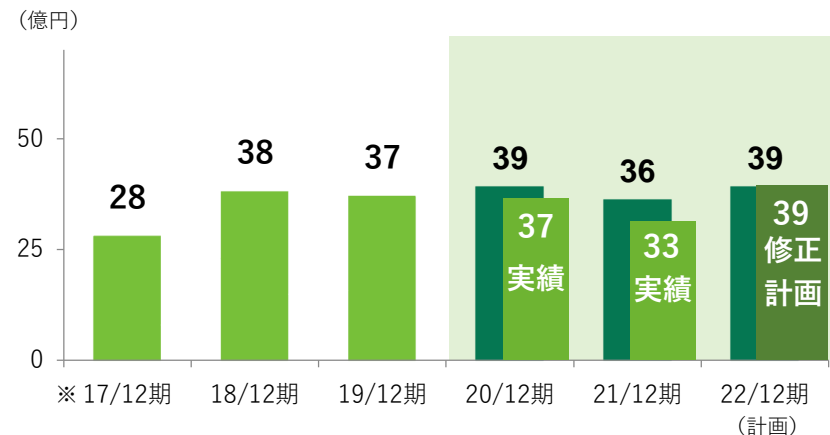


※17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

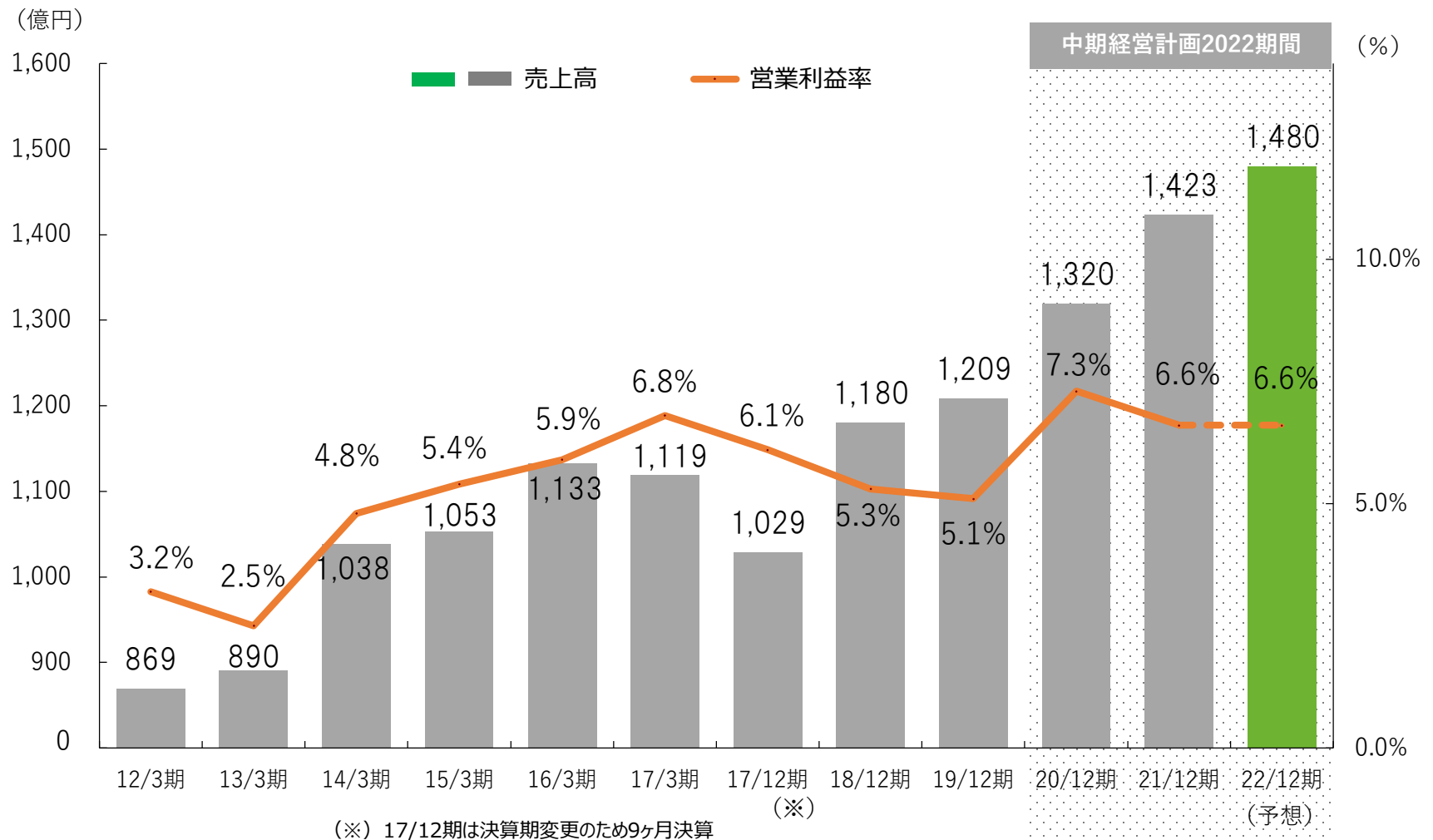
## 研究開発費



## 減価償却費



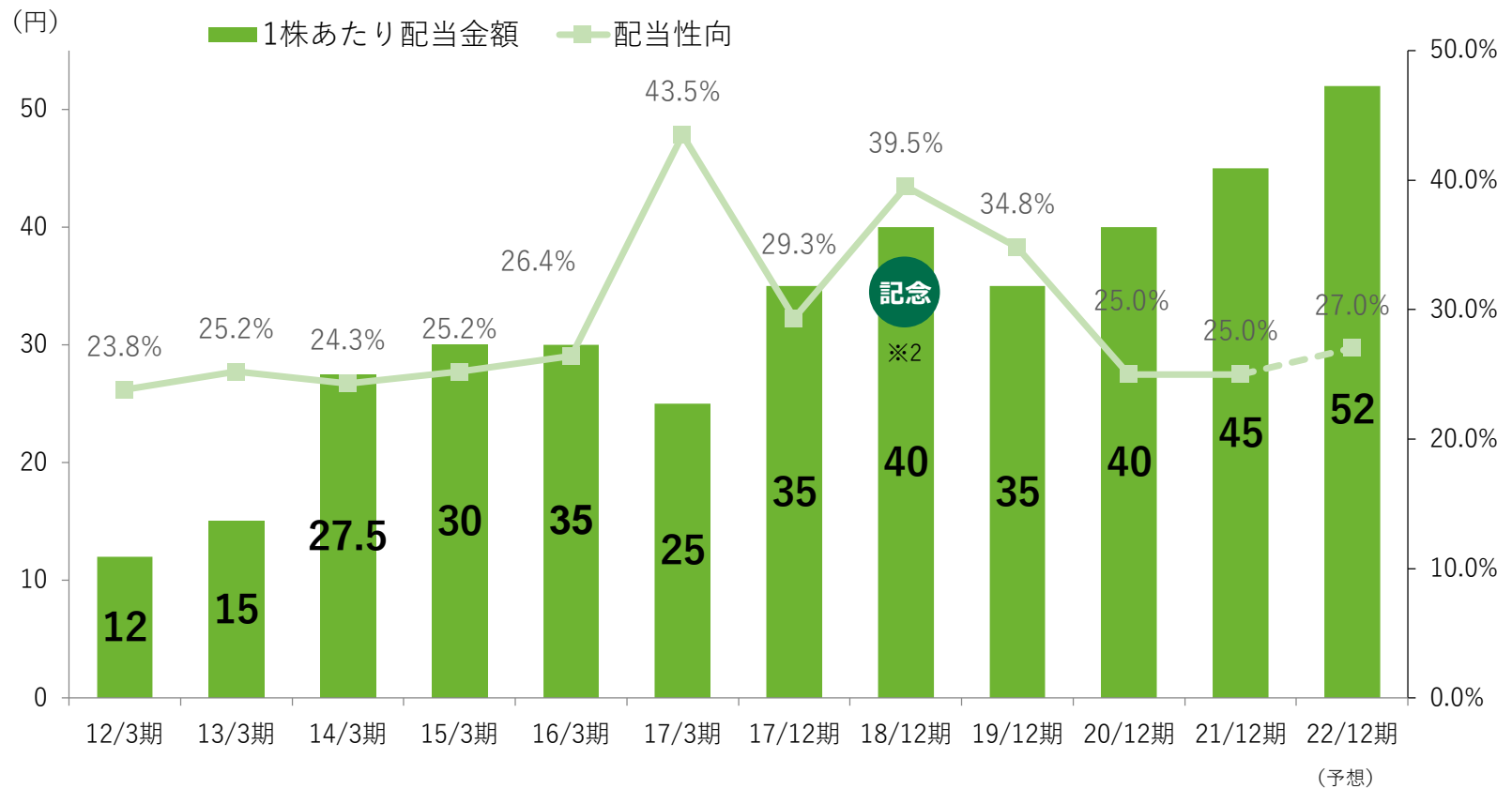
# 業績推移





# 株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。  
 ※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

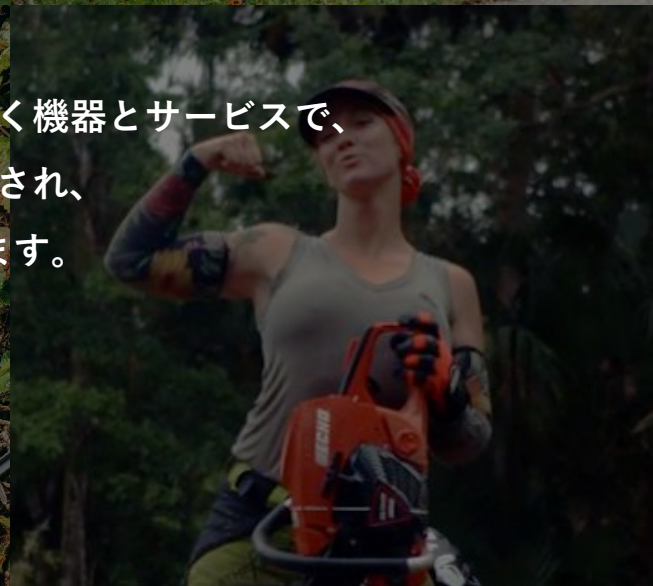
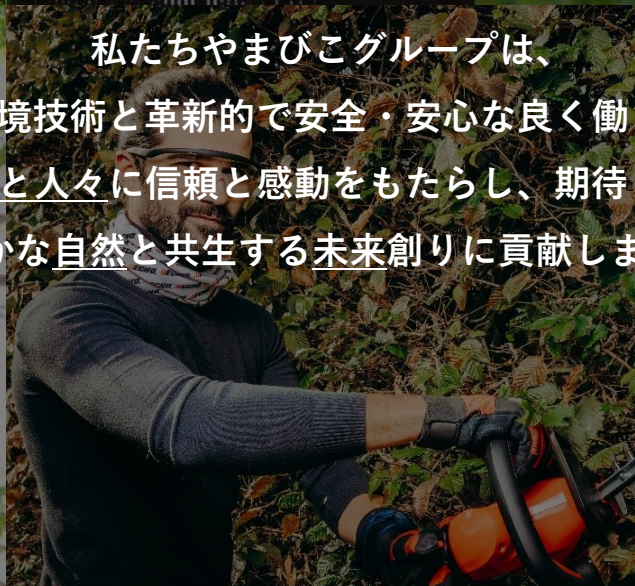
# 3

## 今後の事業環境と 経営戦略

# やまびこの存在意義



人と自然と  
未来をつなぐ



私たちやまびこグループは、  
世界最高レベルの環境技術と革新的で安全・安心な良く働く機器とサービスで、  
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、  
豊かな自然と共生する未来創りに貢献します。

## 世界最高レベルの環境技術と一貫生産体制にアライアンスで期待に応える

### 世界最高レベルの 環境技術と 革新的な製品の開発

現在まで世界最高レベルの環境技術で欧米の厳しい排ガス規制に対応し革新的な製品を数多く生み出してきました  
今後も、ハイブリッドシステムやバイオ燃料など、更に環境技術に磨きをかけていきます

### 一貫生産体制と 整然としたものづくり

開発から材料調達、部品製造、加工、組立までを行う一貫生産体制と協力企業様とグループの総力を挙げて取り組む整然としたものづくりで信頼に応えます



### アライアンス

多様化する市場ニーズに応えるべく研究開発、製造技術、環境・脱炭素化に、志を共にするパートナー企業と連携して積極的に取り組み、更なる期待に応えてまいります

### Network

世界90カ国以上の販売ネットワークと  
プロユーザーを中心とした顧客基盤

私たちは、人々の暮らしを支える生活インフラ作りに  
必要不可欠な企業で在り続けたい

# 安全・安心で良く働く作業機へのこだわり

## 小型屋外作業機械（OPE）

### プロの仕事を支える製品開発

- 長年に渡るプロユーザー向けの製品開発で培った作業操作性をバッテリー製品に適用し高い評価を受けています。動力源に関わらずユーザー様の操作性に拘り、良く働く作業機をお届けします。
- 当社は、軽量でコンパクトながらも高性能・高出力を実現。独自の制御技術によりモーターを最適化することで、長時間の駆動と作業者の負担軽減を可能にしています。



DCS-2500T チェンソー

### 世界最大級出力のバックパック式ブロワ

- 高性能2ストロークエンジンは持続性と安定性を備えた高出力仕様です。
- 世界最大級の出力がプロユーザーの作業負担を軽減。生産性向上に寄与する製品として北米で高い評価を受けています。



PB-9010 パワーブロワ

## 農業用管理機械

### 業界に先駆けて安全装置の開発を推進

- 安全・安心なものづくりの理念のもと、近年事故が多発しているスピードスプレーヤへの保護フレームの標準化など業界のリーダーとして業界を牽引する安全啓蒙活動に取り組んでいます。

### スマート農機の開発

- 圃場形状などに応じて、ブームを自動調整することのできるスライドセクションコントロール機能を搭載したブームスプレーヤ「BSQ6002-ME」を開発し、作業を効率化しました。（一般社団法人農業食料工学会2021年度開発賞受賞）
- 自動化スマート農業に対応した製品として、北海道地域を中心に好評をいただいています。



安全性を確保した機械を開発中  
(写真は試作中のものです)



安全啓蒙活動の推進

## 基本方針

- 売上の拡大と収益性の改善
- カーボンニュートラルに向けた取り組みを促進

### 小型屋外作業機械 (OPE)

- 混乱続くサプライチェーンに対する供給体制の充実
- プロ向け「Xシリーズ」製品販売に注力
- DC製品のグローバル展開を開始

### 農業用管理機械

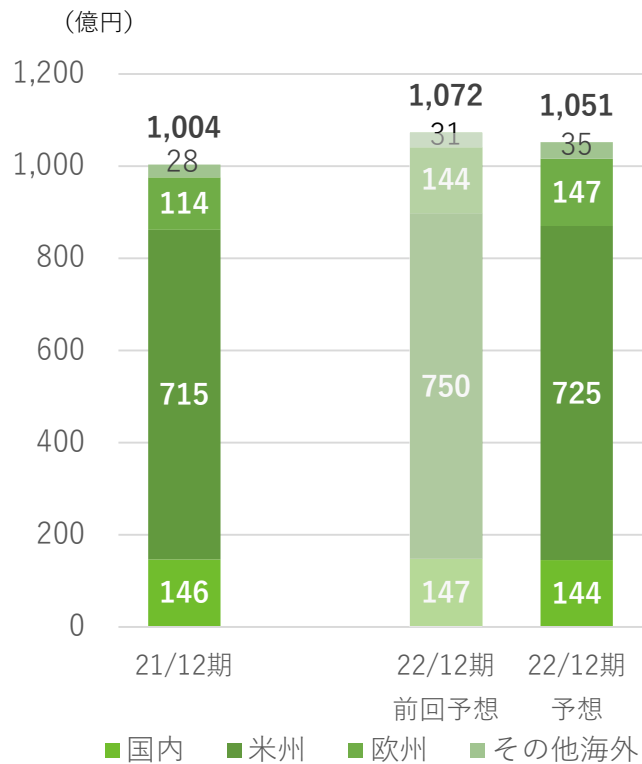
- 安全・安心なものづくり
- ラインナップの見直し
- スマート農業に対応した製品の開発・販売を強化

### 一般産業用機械

- マルチ発電機、ハイブリッド溶接機の開発
- 遠隔監視システムによるサービス事業の拡大
- 防災、減災、国土強靱化に対応した製品の拡販

# セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）

2022年12月期 売上高目標  
1,051億円（4.7%増）



## 北米

### 市場環境

- コロナ需要が物価高や行動規制の緩和により在宅時間が減少し、ホームオーナーの需要が停滞
- 物流や原材料調達などサプライチェーンが混乱
- カリフォルニア州の独自の排ガス規制強化

### 重点施策

- 高い需要が続くプロ向け製品「Xシリーズ」の更なる拡販に注力
- DC製品をフルラインで本格販売
- 前期に購入した米国倉庫を活用し、物流機能を強化、供給不足リスクに備える
- デジタルマーケティングによる販促



米国子会社エコーインクは50周年を迎える

### 修正の理由

北米のホームオーナー向け販売が減少し、当初想定を下回ったため見通しを下方修正

## セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）

## 欧州

## 市場環境

- 巣籠需要は一服感も、プロユーザーの高い需要は継続
- 一般ユーザー含むDC製品の販売が、北欧を中心にエンジン製品を上回る

## 重点施策

- 高付加価値なプロ向け「Xシリーズ」の拡販に注力
- 拡大するDC製品需要に対し今期から新たなDC製品ラインナップを展開



プロ向け「Xシリーズ」製品

## 日本

## 市場環境

- 新型コロナによる巣籠需要は一服
- ユーザーの高齢化、農業・林業従事者の減少
- 前年の補助金による需要増加の反動

## 重点施策

- エンジン主力機種種の拡販
- 高付加価値製品の販売を強化
- DC製品の販売強化

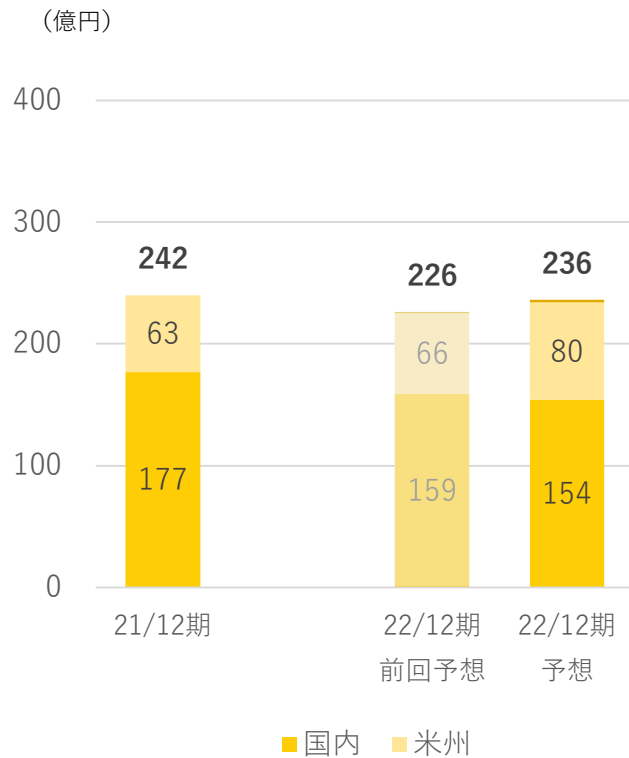


バッテリーT字バリカン BTT510 バッテリーチェーンソー BCSR-510



# セグメント別重点施策：農業用管理機械

2022年12月期 売上高目標  
236億円（2.5%減）



## 修正の理由

北米は好調な穀物市況に支えられ見通しを上方修正も、中国都市封鎖の影響により一部商品の調達が滞り、国内は減収。

## 日本

### 市場環境

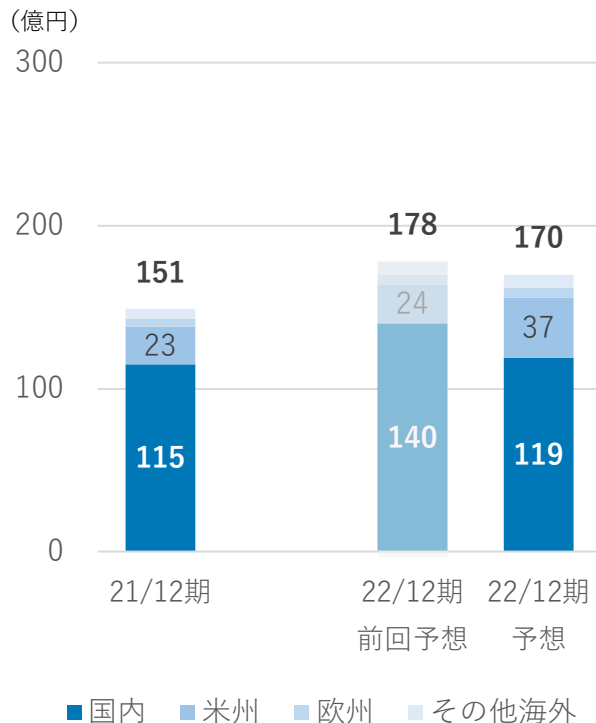
- 農業従事者の減少、高齢化が進み農業の効率化、更なる安全性の確保が求められる
- 農業の法人化が進む
- 前年の補助金による需要増加の反動
- 中国都市封鎖による供給不足が発生

### 重点施策

- 安全・安心なものづくりの徹底
- 収益性の改善が急務
  - ➔ 開発組織を再編し、農機開発改革室を設置
  - ➔ ラインナップの見直し
- 新機種の開発に注力
- スマート農業に対応した製品の販売を強化

# セグメント別重点施策：一般産業用機械

2022年12月期 売上高目標  
170億円（12.6%増）



## 修正の理由

北米は伸長するも、コロナ禍による国内の販売活動の制限が継続し見通しを下方修正

## 日本

### 市場環境

- 引き続き営業活動が制限
- 万博需要
- 人流再開に伴うイベントの再開需要
- 度重なる災害の発生

### 重点施策

- 新製品開発に取り組む
  - マルチ発電機
  - ハイブリッド溶接機
- 遠隔監視システムの販促
- 防災、減災、国土強靱化に対応した製品の拡販

## 海外

### 市場環境

- 北米の建設工事向け需要の回復

### 重点施策

- 遠隔監視システムやハイブリッド溶接機等、高付加価値な製品の販売拡大に注力
- 遠隔監視システムの販促

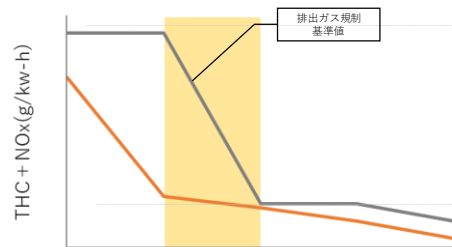
# やまびこグループのサステナブル経営

## ESG課題に取り組み、持続的な企業価値の向上を図る

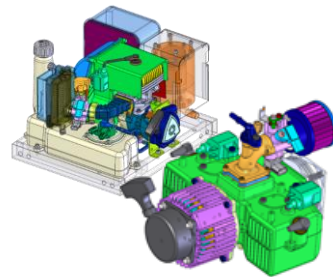
### Environment (環境)

#### ■カーボンニュートラルに向けた取り組み

➢ 世界最高レベルの環境技術と様々なアライアンスを通じて、カーボンニュートラルの実現を目指します



厳しい排ガス規制をクリアしてきた世界最高レベルの環境技術開発に更に磨きをかける



2種類の2ストロークエンジンのハイブリッドシステムの開発



高効率な出力を実現するバッテリーシステムの開発



smile by easy, eco, and efficient separation

アライアンスを通じたOPEエンジンに最適なeFuelの開発

#### ■気候変動に対する取り組み

➢ 次期中期経営計画（2023年2月予定）にて、GHG排出量削減策を開示。併せて、TCFD提言に基づく気候変動がもたらす財務的影響を開示します

### Social (社会)

- 安全・安心なものづくり
- ダイバーシティ・働き方改革の推進
- 社会課題（災害・労働人口減少等）を解決する製品の開発・販売

### Governance (ガバナンス)

- プライム企業として期待されるコーポレート・ガバナンス体制の強化
  - 独立社外取締役が半数を占める取締役会、過半数を占める指名・報酬委員会を構成し、サステナブル経営を実現するガバナンス体制の強化への継続的取り組み

## TOPICS① エコーク 太陽光パネル設置

### ■エコーク 太陽光パネル設置

北米子会社のエコーク建屋に太陽光パネルを設置しました。エコークで使用する年間電力のおよそ4割の発電量を見込んでいます。

国内でも既に広島事業拠点で太陽光パネルを設置しており、同じく同拠点においても年間使用量のおよそ4割の発電能力を有しています。

また、横須賀事業拠点では太陽光に加えてマイクログリッド化を計画するなど、当社は再生エネルギー利用を積極的に進め、事業活動における環境負荷の低減に努めています。



エコークの建屋に設置された太陽光パネルは8,600枚  
年間330万kWhの発電を見込む

※2022年12月期計画済み案件

## TOPICS② イノベーションセンター開設

### ■イノベーションセンター開設

多様化する市場ニーズに応え、世界最高レベルの環境技術と革新的で安全・安心な機器を世に出すための研究機関として、本年5月にイノベーションセンターを開設しました。

それぞれ異なる専門性を持った開発部門の従業員が集まり、日々活発に意見交換がされているほか、社外から講師を招いて講演会を行うなど、オープンイノベーションでのエコシステムの構築を意識し、信頼と感動をもたらす革新的な製品の開発に取り組んでまいります。



フリーアドレス制を採用しOPE、農機、産機というセグメントの枠を超えた意見交換が行われている。



社外から講師を招いた講演会や意見交換会を実施。写真は8月に横河電機(株)常務執行役員マーケティング本部長の阿部 剛士氏を招いた講演会の様子。(時節柄、大勢はWEB参加)  
他、大手エネルギー会社等とも交流会を実施しています。

# 4

## カーボンニュートラルと 当社の開発戦略

# 中長期の需要見通しと当社の開発戦略＝世界最高レベルの環境技術開発

## 需要見通し

プロユーザー向けエンジン製品の需要は当社のブランド力と環境対応技術が貢献し、堅調に続く見通し

一方で、カジュアルユーザー向けは相応にDC製品化が進むことを見込む

**エンジン・DC含めたOPEの市場規模は引き続き世界的に拡大傾向になることを想定**

## 当社の中長期開発戦略

高効率  
エンジン

① 排出ガス規制対応、かつ高効率・高出力のエンジン製品開発

電化

② 良く働く作業機としてのバッテリー製品の拡充

再生可能  
エネルギー

③ リユースEVバッテリー、再生可能エネルギーを活用した製品開発

eFuel

③ eFuel（合成燃料）研究と実用

バイオマス

・高濃度エタノール対応エンジンの研究済

水素

・構想段階

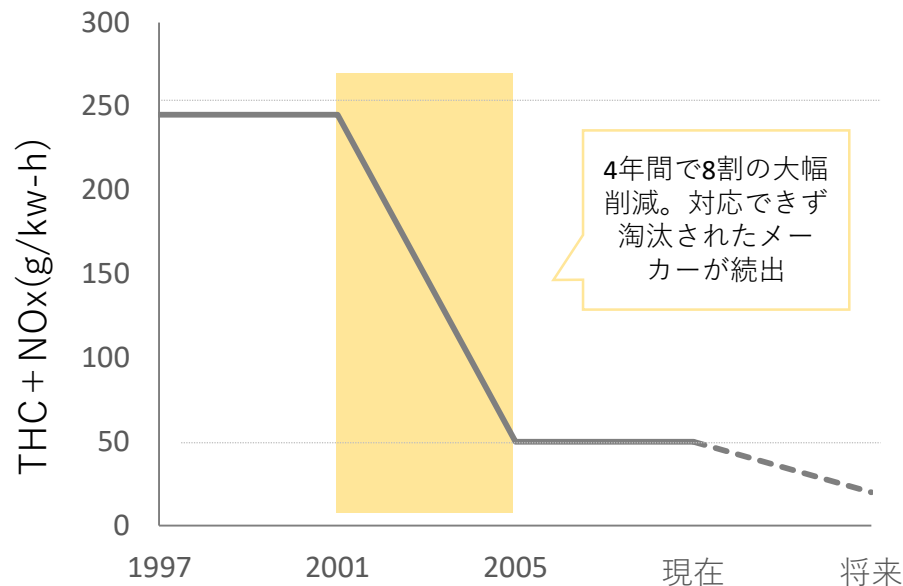
CCUS

・構想段階

# ① 環境対応技術のイノベーション

## 世界最高レベルの環境技術開発に磨きをかける

EPA排出ガス規制の基準値の推移（排気量50ml未満）



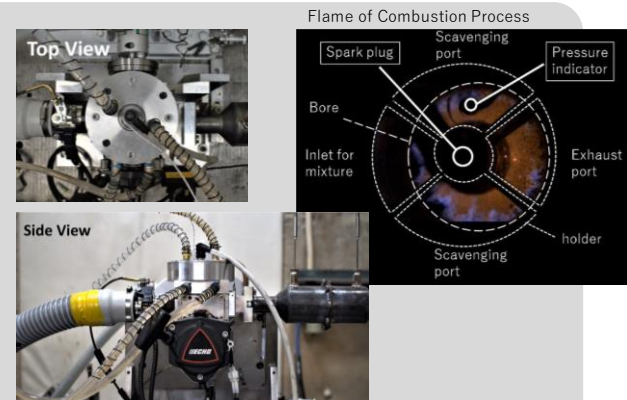
THC=全炭化水素 Nox=窒素酸化物

※EPA = United States Environmental Protection Agency

出典：Electronic Code of Federal Regulationsより当社作成

### 当社の対応

- 開発から資材調達、鋳造、金属加工、機械加工、組立まで世界的にも稀な小型エンジン製造の**一貫生産体制**と**開発力・技術力**を通じて、環境技術開発の量産化を実現している
- EPA認証数は世界でトップクラス



次世代2ストロークエンジン



## ② バッテリー製品のラインナップ

### グローバルDC製品の開発・製造

- 2021年、主力市場にある米国子会社ECHO incにバッテリーR&Dセンターを設立
- 本社と共にグローバルプラットフォームを確立し、本年より本格稼働



### 共通バッテリー



- 共通のバッテリーで使用可能な新たなバッテリー製品ラインナップを北米・欧州・日本市場で本年より展開
- 作業機の使用環境に合わせる、高出力（56V）と中出力（40V）の2種類を用意
- 独自の制御技術により、バッテリーの熱、充電、放電を管理することで、効率的な出力が可能

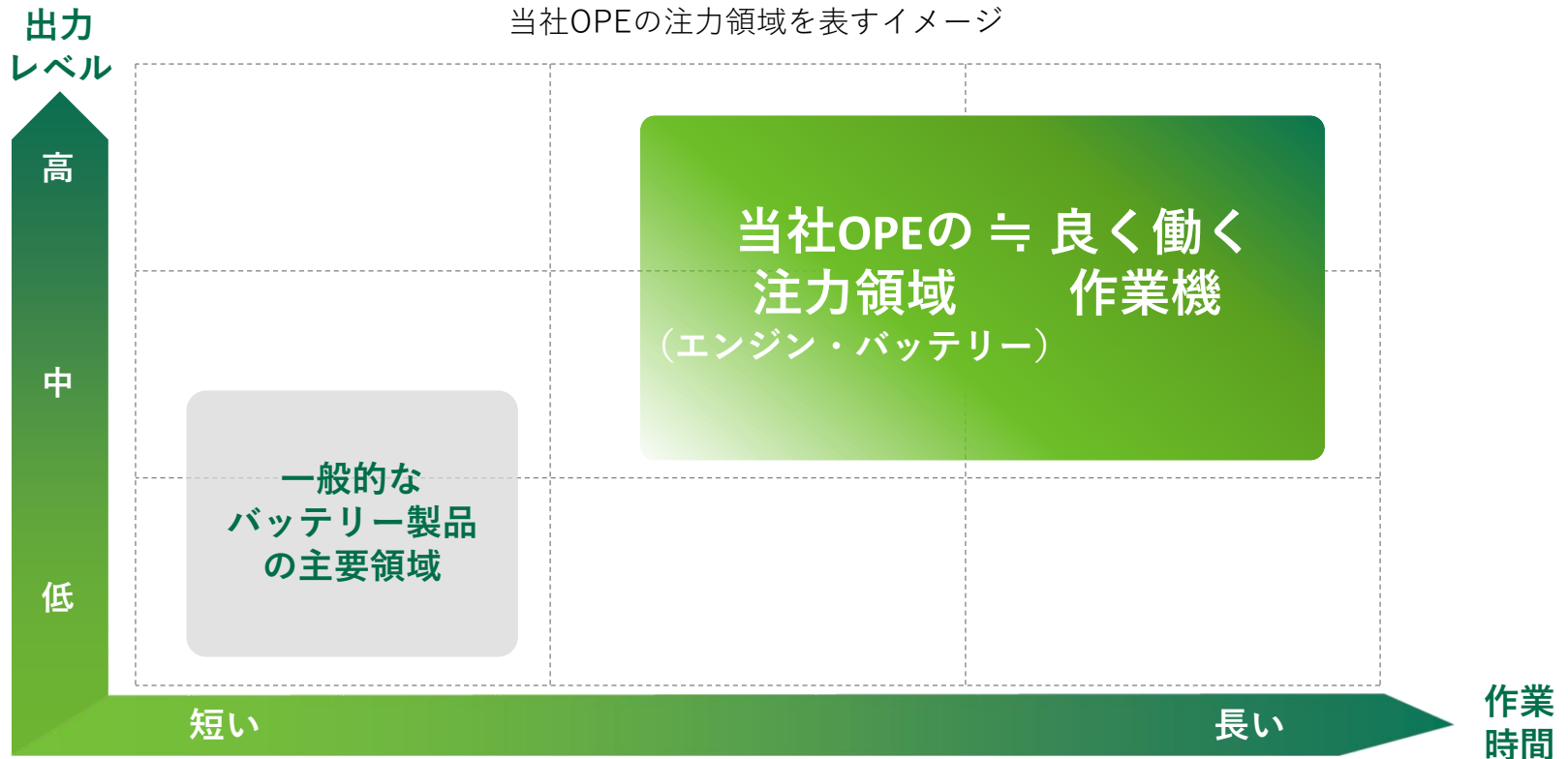
### Xシリーズ

- 高性能で耐久性に優れ、プロユーザーも満足できる「Xシリーズ」で二系統のバッテリー製品シリーズを市場別に展開
- バッテリー製品の「Xシリーズ」は7月に開催された米国代理店会議でも紹介され、代理店から高い評価を得る



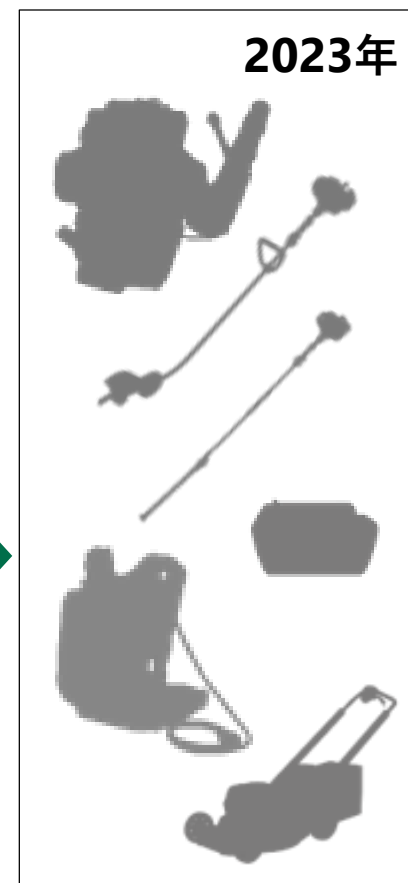
# 小型屋外作業機械（OPE）における 当社手持ち・背負い型作業機の開発戦略を表すイメージ

高い「仕事量」が求められるユーザーや用途が、当社の注力領域。手持ち・背負い型の作業機分野で、排出ガス規制をはじめとするカーボンニュートラルに対応したOPEの開発・販売を推進



出力 × 作業時間 = 仕事量

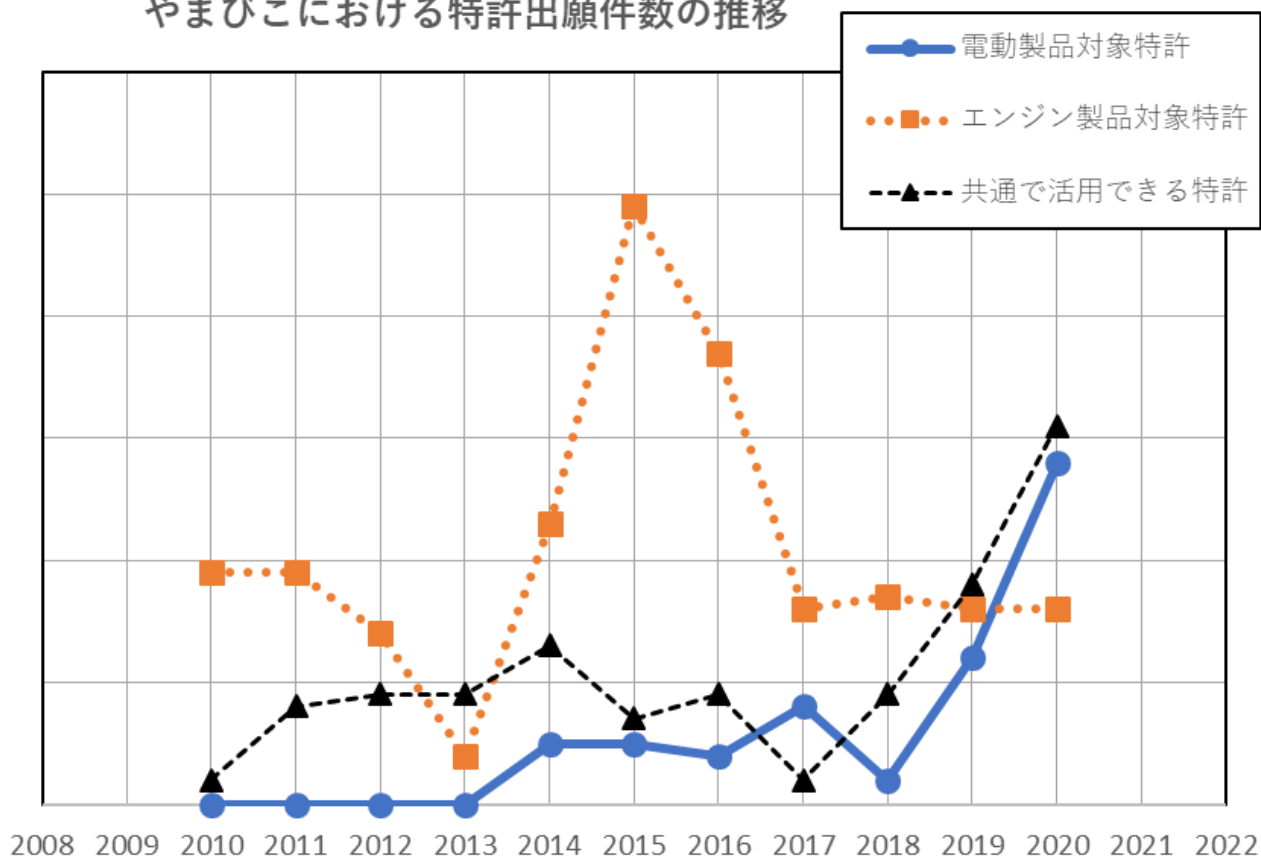
# 良く働く作業機としてのバッテリー製品の拡充 電動化促進 ～現在の電動製品ラインアップ状況～



来年度以降  
ラインアップは  
順次拡大予定

2020年に電動製品を対象とした新規出願件数がエンジンを上回る

やまびこにおける特許出願件数の推移



※出願特許の公開時期は出願から18か月後であり、2021年に申請した案件のほとんどが未公開案件の為、集計の対象外。

### ③ アライアンスへの取り組み（一部事例）

#### eFuel（合成燃料）研究

eFuel Alliance への加盟



環境対応の合成燃料の普及などを目指すeFuel Allianceに加盟し研究を開始しました

イーセップ(株)と  
共同研究開発契約を締結



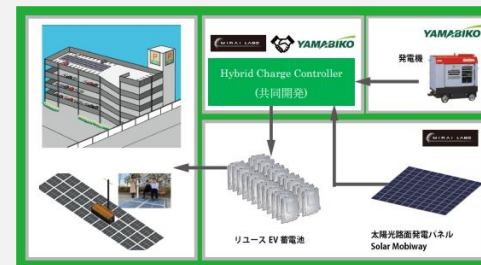
OPEエンジンに最適なeFuelの開発を目指しています

#### 低炭素・循環型社会の実現

MIRAI-LABO(株)と  
資本業務提携を締結



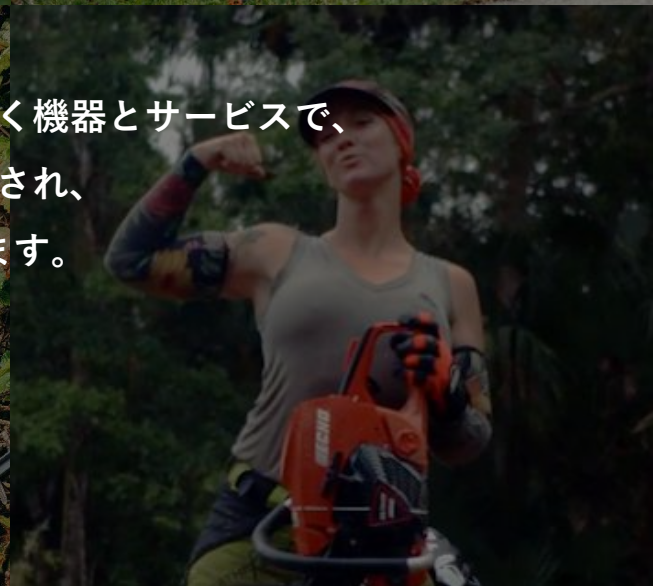
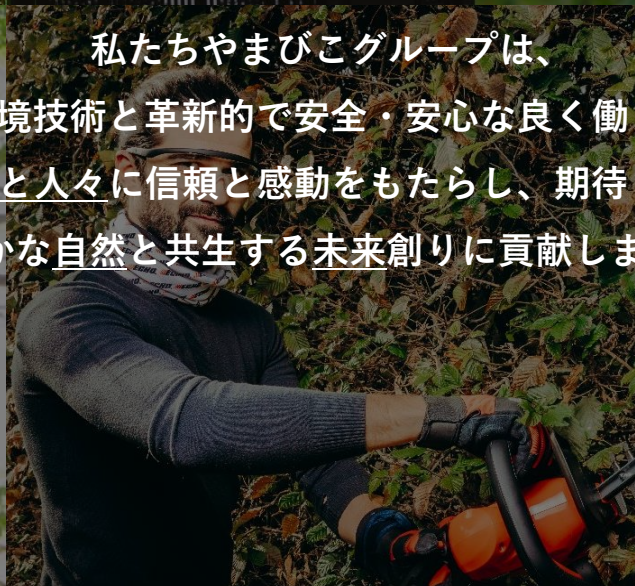
「ハイブリッド自律型エネルギーシステム」や「屋外作業機の電動化ならびに移動型バッテリー充電システム」の開発・事業化など、「低炭素・循環型社会の実現」に向けた協業体制を強化します



# やまびこの存在意義



人と自然と  
未来をつなぐ



私たちやまびこグループは、  
世界最高レベルの環境技術と革新的で安全・安心な良く働く機器とサービスで、  
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、  
豊かな自然と共生する未来創りに貢献します。



“企業こそダイナミズムは必要なれ、  
思考を強ふる不確実時代。  
変化する環境への調整に対応する  
実践こそは企業の姿勢なれ”

株式会社共立創業者  
小林 厩男(1903-1980)

## 創業者達の経営理念 -やまびこのDNA-

“かつて7坪半の薄暗い工場のなかで  
叫んだ様に、  
「固定概念(かきがら)を取りのぞけ」  
「創意と努力」  
を私はいつまでも叫び続けます”

# 変革

新ダイワ工業株式会社創業者  
浅本 数正(1921-1993)



# APPENDIX



## 会社概要

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	142,328百万円 (2021年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社／2021年12月末現在)
従 業 員 数	3,435名 (2022年6月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2022年6月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社2社を除く

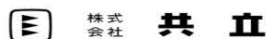
# やまびこの歩み



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



設立 1947年 (昭和22年)



株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

新タイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

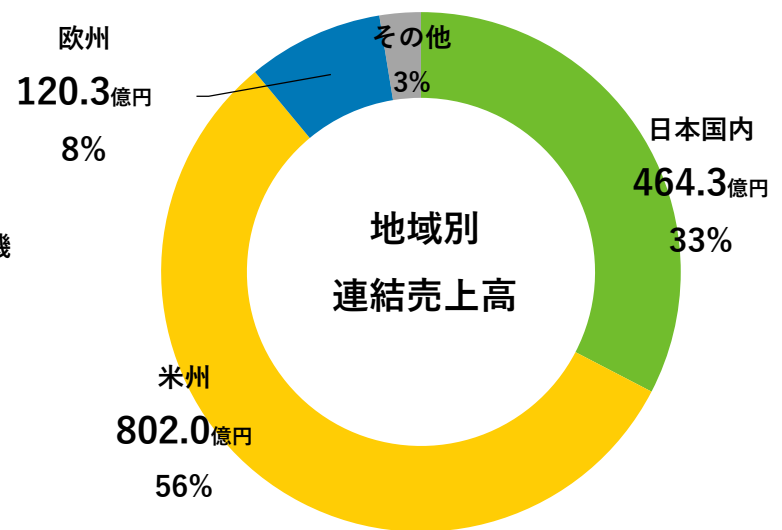
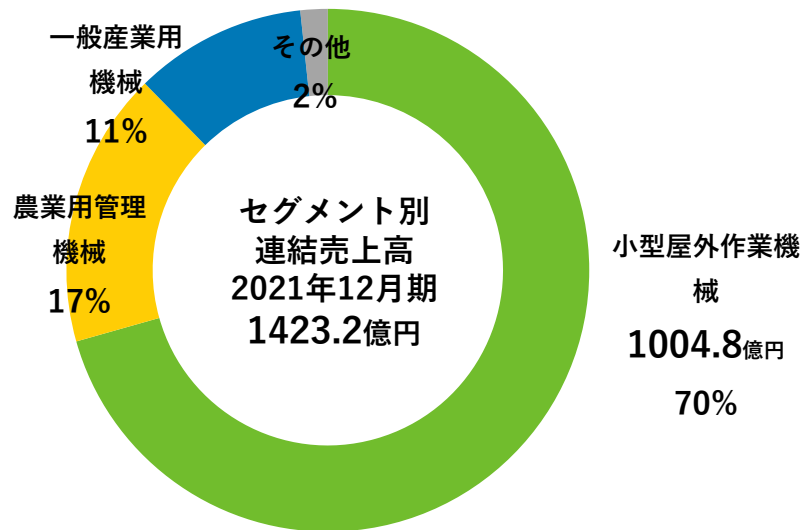
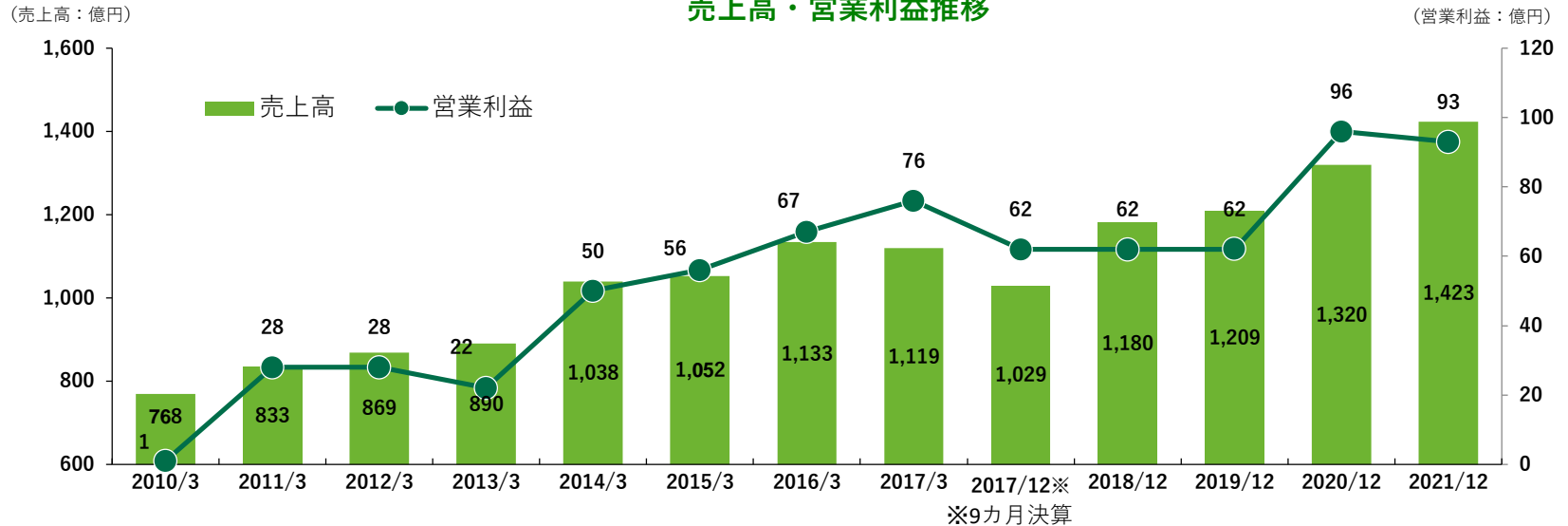


## 社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

# 業績推移と売上構成

## 売上高・営業利益推移



## 事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）



売上高構成比

**70.6%**

(2021年12月期)

主に「手で持つ」「背負って」使用する  
小型エンジンなどを搭載した  
機械およびロボット芝刈機の製造販売



パワーブロウ



チェンソー



ヘッジトリマー



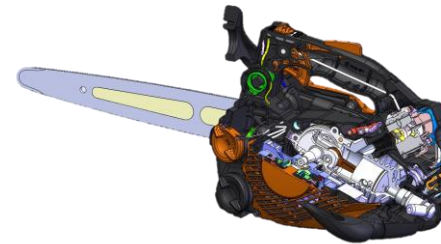
刈払機



ロボット芝刈機

### 技術的な強み

## 世界最高レベルのエンジン開発力



高い製品  
シェア

日本：30%以上  
※当社調べ

### 高性能・高耐久・高品質エンジン

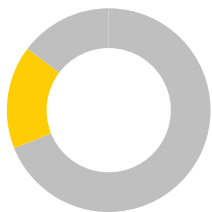
- 小型・軽量・高出力（手持機械に最適）
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

### 小型エンジンに必要な技術を保有

- 鋳造→熱処理→機械加工→組立
- 鉄めっき・放電加工

※Outdoor Power Equipment

# 事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

17.1%

(2021年12月期)

国内における防除機械、  
北米における  
農作物収穫機械の製造販売



乗用管理機



スピードスプレーヤ



畦草刈機



ポテト収穫機（北米）

## 技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、  
スマート農業に貢献

### 送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

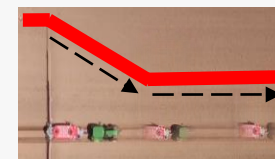


やまびこノズルの  
噴霧状態（扇形状）  
（平均粒子径  
110~270 ミクロン）

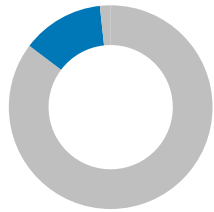


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



# 事業セグメント：一般産業用機械

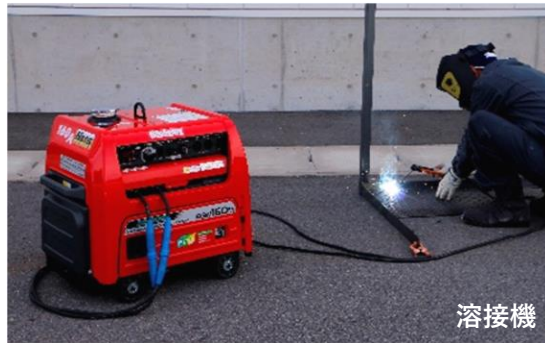


売上高構成比

**10.7%**

(2021年12月期)

建設工事・防災・減災  
イベント向け機械の製造販売



溶接機

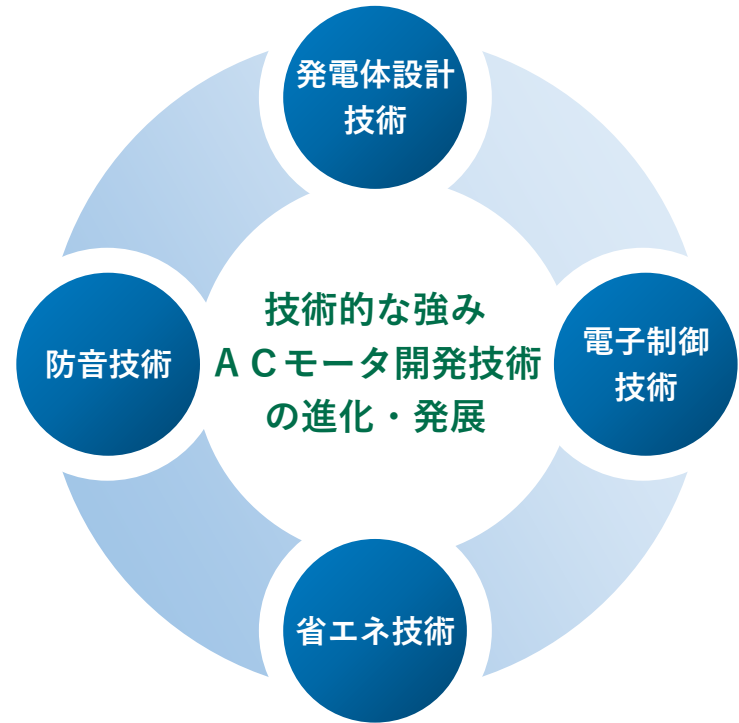


発電機



投光器

## 技術的な強み



世界初の三相/単相3線  
切替なし同時出力可能  
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」  
低燃費・騒音排出ガス効果に優れ  
た2つのエコ機能の開発

# 国内生産体制

- 生産事業所
- 生産子会社

## 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造  
 (機械加工・塗装・組立等)  
 防除機の製造 (板金・塗装・組立等)

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



## 本社



## 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造  
 (鋳造・金属処理・機械加工・組立等)



## 生産本部 広島事業所

小型屋外作業機械の製造  
 (機械加工・組立等)  
 発電機・溶接機・電動工具  
 の製造 (組立等)

※ 発電機等の搭載エンジンは他  
 メーカーからの調達

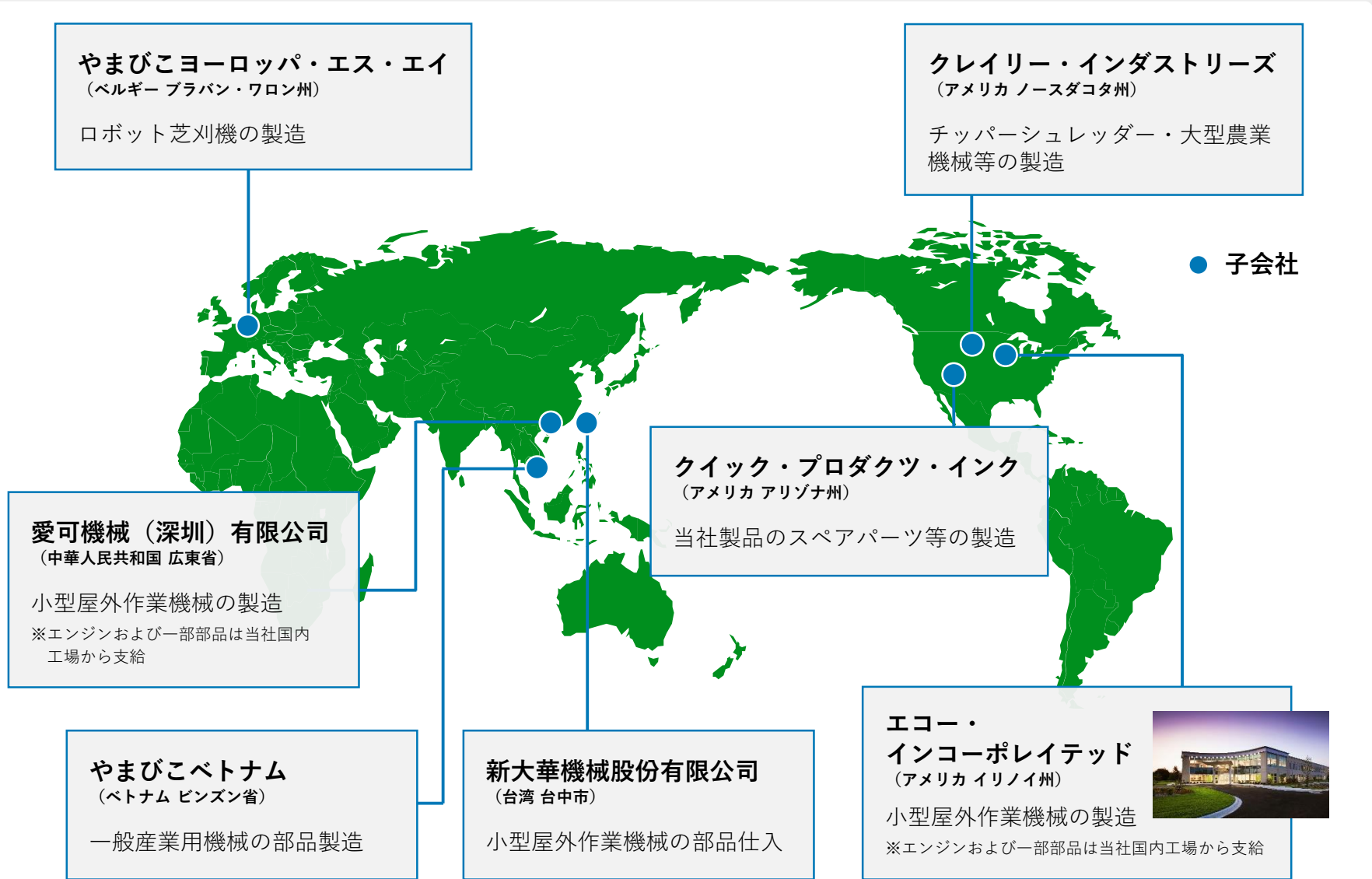


## 生産関連子会社

- 追浜工業株式会社 (横須賀市) : 電装部品
- 双伸工業株式会社 (青梅市) : 樹脂部品
- 株式会社ニューテック (長野市) : 試作部品
- やまびこエンジニアリング株式会社 (安芸高田市) : 板金加工

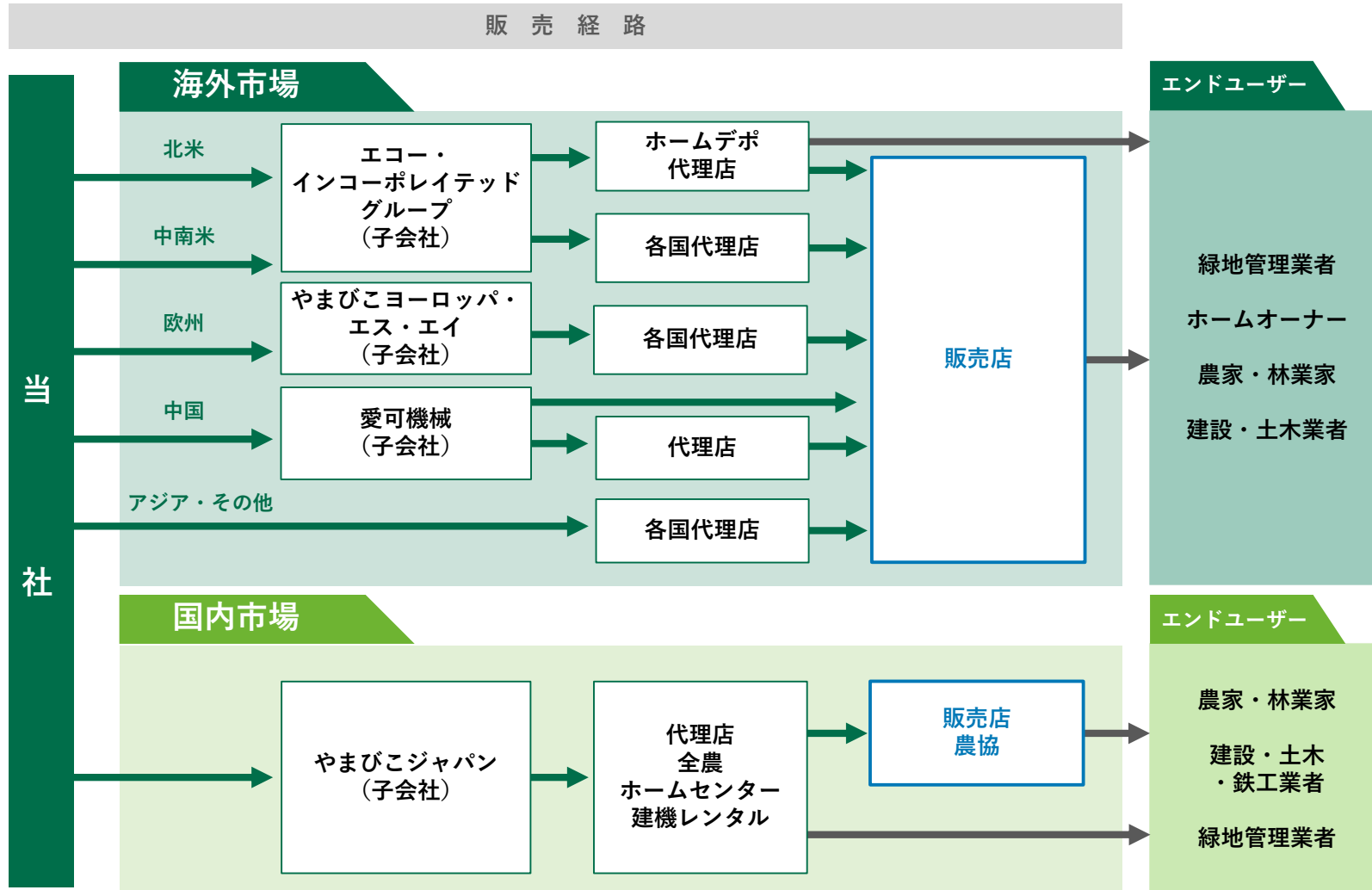


# 海外生産体制





# 主な販売経路



# 海外市場での販売とユーザー

## 販売店

ホームセンター、農機具店、ハードウェアストア、販売代理店など



- 海外における販売店ではプロユーザーを意識した高付加価値製品群を取りそろえて対面販売
- ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向けに品揃え

## エンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業者



建設・土木業者

# 日本市場での販売とユーザー

## 販売店

農協、農機具店、建機レンタル会社、ホームセンターなど



- プロユーザー向けには販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売
- 建設向けは、金物店や建機レンタル会社を通じて、個人ユーザーにはチェーン展開するホームセンターなどで販売

## エンドユーザー



緑地管理業者

建設・土木・  
鉄工業者



農家・林業家

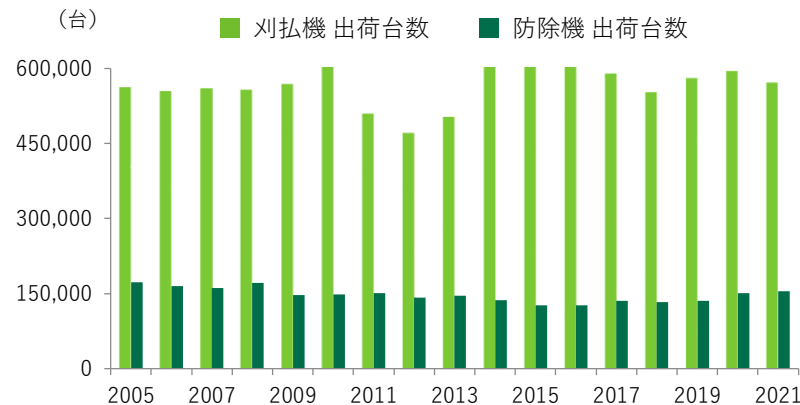
# 主なグループ会社の状況

	海外	小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
生産販売		エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ	エコー・インコーポレイテッド
生産		クイック・プロダクツ・インク 新大華機械		やまびこベトナム
販売		ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
	国内			
販売		やまびこジャパン		
生産		追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

## 関連指標等

事業	関連指標等
小型屋外作業機械（OPE）	（一社）日本農業機械工業会出荷実績（刈払機）、米価 等
農業用管理機械	（一社）日本農業機械工業会出荷実績（防除機）、米価 等
一般産業用機械	（一社）日本陸用内燃機関協会（携帯発電機）、 （一社）日本建設機械工業会出荷金額統計（その他建設機械）、 建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

## 出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。  
 （防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社）  
 （一社）日本農業機械工業会出荷実績



（一社）日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計（3kVA以下）

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

## お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : [ir6250@yamabiko-corp.co.jp](mailto:ir6250@yamabiko-corp.co.jp)